

令和3年2月25日
総合政策局
海外プロジェクト推進課

**質の高いインフラのための人材育成等に関してインドネシアとの関係を強化
～第7回日・インドネシア建設次官級会合の開催結果（報告）～**

国土交通省とインドネシア共和国公共事業・国民住宅省は、2月10日（水）に、第7回日・インドネシア建設次官級会合をオンラインで開催しました。両国における「質の高いインフラのための人材育成」、「スマートシティ」、「ダム再生」の3つを中心に、両国の取り組みの現状および課題、今後のプランを共有するとともに、今後の両国の協力関係を強化していくことを確認しました。

(1) 日 程 : 令和3年2月10日（水）16時30分～19時30分

(2) 会 場 : オンライン

(3) 出席者（約100名）:

[日本側] 国土交通省 山田 技監、石原 海外プロジェクト審議官 他
(国研)土木研究所, (独)水資源機構, (独)都市再生機構,
日本下水道事業団 他

[インドネシア側]

公共事業・国民住宅省 モハマド・ザイナル・ファタ 事務次官 他

(4) 結果概要 : 別紙のとおり



国土交通省山田技監による開会挨拶



公共事業・国民住宅省モハマド・ファタ次官による開会挨拶

(問い合わせ先)

国土交通省 代表電話番号 03-5253-8111

総合政策局 海外プロジェクト推進課 直通 : 03-5253-8315, FAX : 03-5253-1562

国際協力官 小林 孝 (内線 : 25804)

国際協力第二係長 矢田 絃馬 (内線 : 25815)

(別紙)

【二者会談】

全体会合に先立ち、山田技監とモハマド・ファタ次官との間で会談を行い、質の高いインフラのための人材育成等、二国間協力の重要性を確認しました。

【全体会合】

両省を代表して山田技監、モハマド・ファタ次官から開会挨拶があり、その後、「質の高いインフラのための人材育成」、「スマートシティ」、「ダム再生」の3つの議題について、インドネシア側・日本側双方から経験や事例などを紹介し、意見交換を行いました。

○議題1：質の高いインフラのための人材育成

- ・国土交通省総合政策局から、我が国が主導する「質の高いインフラ」にむけて、「質の高いインフラ生産システム」の紹介を行いました。特に、「質の高い発注者」を確保するための取り組みとして、品確法・総合評価・等級区分・低入札価格調査基準を紹介したほか、「質の高い技術者」の確保に向けた資格制度の紹介を行いました。
- ・インドネシア公共事業・国民住宅省人材開発庁から、同庁所管の教育・研修施設であるポリテクニークにおける人材育成の概要が紹介されました。



○議題2：スマートシティ

- ・国土交通省総合政策局から、ASEANにおけるスマートシティ形成に対する日本政府の支援策として、案件形成調査や実証事業の実施、金融支援の促進、ASEAN各国におけるスマートシティに関する対応強化などの支援策をまとめた Smart JAMP（スマートジャンプ）の紹介を行い、積極的な活用を呼びかけました。
- ・インドネシア公共事業・国民住宅省地方インフラ開発庁から、首都移転計画について、新首都におけるスマートシティの開発コンセプトと計画が紹介されました。



○議題3：ダム再生（第6回防災協働対話）

- ・国土交通省水管理・国土保全局から、日インドネシアにおける第6回目の防災協働対話として、ダム点検及びダム再生について、具体の事例を交えながら発表を行いました。日本に存在する多様なダム形式のインドネシアにおける適用可能性や、貯水池における長期的な堆砂状況の分析について積極的に質問が寄せられ、活発な議論がなされました。
- ・インドネシア公共事業・国民住宅省水資源総局から、インドネシア公共事業・国民住宅省が取り組むダム再生案件について具体の計画が紹介され、日本の協力への期待が示されました。



閉会挨拶後のフォトセッションの様子